

「物理 女子チャレンジ in 洗足学園」 が開催されました

2019年3月9日（土）に洗足学園中高にて、「物理 女子チャレンジ in 洗足学園」が開催され、中学3年生から高校2年生の21名が参加しました。

この会はもともと国内で行われる物理チャレンジに関して理解を深め、最前線で活躍されている方の講義や課題実験などを高校生が体験する目的の企画「プレチャレンジ」にあたります。物理チャレンジは国際物理オリンピックへとつながる大会であり、毎年多くの高校生が挑戦していますが女子の参加はそこまで振るわない状況です。そんな中、女子校の洗足学園が今回の企画に挑戦するという事で、プレチャレンジの名称も「女子チャレンジ」と名を変え、物理オリンピック日本委員会（The Committee of Japan Physics Olympiad, JPhO）の理事長でもある東京大学の長谷川修司教授と、高千穂大学の並木雅俊教授という豪華な組み合わせで開催して頂くこととなりました。

当日は、定期考査翌日にもかかわらず、様々な学年の物理大好き女子が物理実験室に集まり、1時間半の講義と1時間の実験に取り組みました。並木先生の講義では物理チャレンジの過去間にふれながらも、科学的な考えや様々な科学者の科学への姿勢を知る機会となりました。ユーモアに富んだお話で、物理基礎を学んでいない中学3年生でも楽しく聞くことができました。その後、実験キットが1人1台配られ、長谷川先生による「LED電球を用いて、色の違いと電圧の関係」の実験授業を受けることができました。中学生は指導を受けながらも実験に必死に食らいつく様子が見られ、今後の勉強への意欲へとつながったかと思います。高校生は出された課題だけでなく、キットを使って異なる実験を行うなど、実験の本質を楽しむことができました。

また、今回の企画には物理チャレンジに参加経験のあるOGが2名来校し、色々なお話を聞くことができました。物理チャレンジに挑戦することとなった過程や、国際物理チャレンジでの出会いなど聴くことができました。また、現在の進路選択などの質問にも気さくに答えてくれ、大変貴重な機会となりました。

会そのものは12時には解散したのですが、多くの生徒がその後も実験室に残り、様々な疑問を教授やOGにぶつけている姿が印象的でした。この中からオリンピックへと挑戦してくれる生徒が多数出てくることを期待しています。

【参考】<http://www.jpho.jp/prechallenge.html>

